

甲府商科専門学校だより 二月号

経験と想像力

元旦に発生した能登半島地震で、長引く避難所生活を余儀なくされている被災者の方々を思うと心が痛みます。先月、学生一人ひとりが学校としてできる支援策を考え、募金活動を行いました。学生が、被災された方々の苦しみを想像し、行動に移してくれたことに意味があると思います。我々は経験から様々なことを学びますが、実際に経験できることは限られています。一方で、望まない辛い経験を強いられることもありま

企業ガイダンス等情報

【一年生対象】

◎マイナビ主催 就活直前フェア

日時 二月七日(水) 十三時〜

場所 アイメッセ山梨

◎YBSジョブリサーチ・インターシップフェア

日時 二月十三日(火)・十四日

(水) 九時二十分〜、十二時二十

分〜、十五時二十分〜(三部制)

アイメッセ山梨

◎山梨県情報通信業協会主催 ICT企業ガイダンス

日時 二月十五日(木) 十三時

場所 ベルクラシック甲府

【川口知男先生より】

授業と授業の合間、静かに流れる時間とやや緊張感漂う部屋に突

然「何気ないことば」が部屋の空間に響き渡ります。そして、その「ことば」がきっかけとなり、その人の個性や豊かな知性や教養、重み深みのある人間性や人生観が、お互いにやり取りするその「ことば」のなかに凝縮され、つい、耳を傾けてしまふような、楽しい「会話」、良好な「コミュニケーション」と展開していきます。

どの場面でも会話の言葉は、その場で消えてしまう「音」の様なものですが、時には、日頃の自分の言動や後ろ姿を映し出し、自身自身を見つめ直すきっかけとなる「会話」が、ふと頭に浮かぶときがあります。

「人間は言葉を使う動物である」という言葉を聞いたことがあります。

す。私たちは、いつ、どこで、誰と、どんな目的で、と、様々な場面で自分の考えや意見などを相手に伝え、相手を理解しようとする「作業」を繰り返しながら、自身自身の存在を確認しているのではないのでしょうか。

「コミュニケーション」は「傾聴」と「共感」の気持ちをもち相手の話を傾けることが大切だと思います。どの場面でも「傾聴」と「共感」で繋がる良好な「コミュニケーション」から、同じ方向へ向かう「協働」という行動に繋がっていくのではないのでしょうか。

【坂本直美先生より】

先日ある雑誌にこんなことが書いてありました。「何もしないということ」は、目の前で起きていることを容認することにつながる。ハラスメントや差別行為を見過ごすことは、中立ではなく、認めていることになる。...

日常生活の中で困っている人を見かけても「大丈夫？」と声をかけると、人が集まり余計恥ずかしくなると思い、声をかけることを躊躇したり、迷惑をかけるかもしれないことへの不安から、その場から目をそらしてしまったりすることがあります。そんな時、不快にさせるかもと考え言葉をかけないのではなく、言葉をかけることが「必要なら助けますよ」という意味のメッセージだと考えれば、相手を助けることと、迷惑をかけるないことを両立させることができきるかもしれません。

コロナ禍で人と人の関わり合いを遠ざけてきた今だからこそ、他

者との関り方を改めて考える必要があるのではないのでしょうか。他者とながらる第一歩として、皆さんも傍観者から「おせっかい」な人になってみませんか。

【学校行事・連絡等】

◎2月・3月の学校行事

2月

1日(木)後期試験開始

4日(日)税務検定

7日(水)後期試験終了・学年集会

8・9日(木・金)追試験

11日(日)秘書検定

13日(火)甲府市議との意見交換会

18日(日)全経簿記検定

20日(火)再試験

22日(木)就活強化プログラム開始

25日(日)日商簿記検定

3月

4日(月)表彰式・卒業式予行

5日(火)創立記念日

6日(水)卒業式

13日(水)第2回一般入試

21日(木)終業式

22日(金)学年末休業開始

新入生オリエンテーション

【学生部】

◎甲府市二十歳のつどいに協力

1月8日に甲

府市総合市民会

館で行われた

「二十歳のつど

い」に、本校学

生が協力しまし

た。20歳を迎え

る甲府市出身の

二年生2名が

「二十歳のつど

い」記念事業委



員会の委員となり、当日の式典終了後の記念事業（フォトスポットの展示）の設営に携わりました（写真中央2名が本校学生です）。晴れやかなセレモニーをさらに彩った記念事業、お疲れ様でした&おめでとうございました。

【保健室】

新型コロナウイルスの変異株の報告がなされるなか、コロナ感染者増加とインフルエンザ感染者増加の報告がされています。流行状況が県内の広い地域で確認され、いつ誰が罹ったとしてもおかしくない状況になっています。更なる予防対策を続けて行くことが大切です。うがい・手洗いをしっかりと、食事や睡眠のリズムを崩さないようにする、衣服の調節や暖房の使い方工夫するなど自己管理をしっかりとしましょう。

なお、一月で授業は終了ですが、後期試験をはじめ、登校の機会はまだあります。体調を崩し、少しでも普段と違う等変化を感じた際は無理をせず登校を控え、自宅待機し、必要に応じて病院を受診してください。また、登校の際は必ず医師の診断・指示を受けて、欠席届・公欠願いなどの書類を提出してください。

【進路支援室】

◎「二年生へ」
二月二十二日から、「就活強化プログラム」が始まります。三月から本格化する就活に備える行事（一年次全員参加）となります。また、二月にも業界研究セミナーが各団体で実施されます。業界研究イベントとしてはラストチャンスです。

可能な限りイベントへ参加し、三月に備えましょう。

◎「二年生へ」

後期の授業が終了しました。今後、内定先で研修等が実施される人もいると思いますが、しっかりと自分を磨き、四月に向けて備えてください。研修等が登校日と重なる場合は、事前に申し出て指示を仰いでください。

【教科主任より】

（商業科）

◎祝 初の税理士試験簿記論合格！

昨年8月に実施された第73回税理士試験において、会計情報科2年の清水美希さんが難関試験である簿記論に合格しました。この試験での合格は本校初の快挙です。清水さんは日商簿記1級合格に続く栄冠であり、本人の不断の努力を称えたいと思います。おめでとうございました。

◎2月は4日に税務会計、25日に日商簿記検定があります。ネット試験で受験する人もいますが、受験する日程に合わせて合格を目標に自己管理してください。
◎1年生は就活も始まり、忙しくなってきましたが、資格も就職も自己研鑽のためです。時間を有効に使って、両立できるように頑張りましょう。

（情報科）

◎祝 8年連続応用情報技術者試験合格！

昨年10月8日に実施された情報処理技術者試験において、情報処理科2年の佐々木玲緒奈さんと三

ツ木真那斗さんの2名が難関資格の応用情報技術者に合格しました。おめでとうございます。昨年度に続き複数の合格者が出るとともに応用情報技術者の合格は8年連続となります。
◎応用情報、基本情報を受験する1年生は、2月の課外に頑張りつつ参加し、合格を目指してください。

【検定結果】

◎第74回ビジネス文書技能検定

（令和5年11月26日実施）
2級合格者

〈情報処理科2年〉
佐々木 玲緒奈 原 英輝

◎日商簿記検定

（令和5年11月25日実施）
2級合格者

〈会計情報科1年〉
佐藤 優大

◎Javaプログラミング能力認定試験

（令和5年11月25日実施）
3級合格者

〈情報処理科1年〉
雨宮 若奈 石原 美里
井上 舜登 大河原 豪
大森 歩夢 荻原 もみじ
笠井 颯 末岡 愛香里
曹 玳 野田 真輝
長谷川 美羽 幡野 颯太
原 由華 廣瀬 颯
深澤 龍成 藤城 風音
藤田 康介 松田 愛華
向山 翼 村井 健人
朝比奈 さくら 井川 堅造

◎CGクリエイター検定ベーシック合格者

（令和5年11月26日実施）
〈会計情報科2年〉
岩下 璃杏 眞戸原 百花
〈情報処理科2年〉
飯野 雛 大屋 リュウキ
佐々木玲緒奈 鈴木 唯翔
三ツ木真那斗 渡辺 瑠莉

◎基本情報技術者科目A免除修了試験合格者

（令和5年12月10日実施）
〈会計情報科1年〉
井川 堅造 荻原 もみじ
高見澤 七菜 羽田 百花
日原 航陽 廣瀬 颯
藤田 康介 松田 廉
望月 崇宏

◎Javaプログラミング能力認定試験

（令和5年12月19日実施）
3級合格者

〈情報処理科1年〉
安部 葉 桐原 弥社
望月 崇宏 渡邊 愛華

大矢 優奈 長田 一音
河西 祐美 金井 将己
斎藤 勇太 坂口 仁煌
清水 桜花 高見澤七菜
田中 龍斗 中嶋 春輝
羽田 百花 日原 航陽
細川 倅明 松田 廉
三尾 峻 森本 八雲

◎第212回全経簿記能力検定

（令和5年11月26日実施）
1級商業簿記・会計学合格者

〈会計情報科2年〉
秋山 晴香

1級原価計算・工業簿記合格者

〈会計情報科2年〉
秋山 晴香

◎CGクリエイター検定ベーシック合格者

（令和5年11月26日実施）
〈会計情報科2年〉
岩下 璃杏 眞戸原 百花
〈情報処理科2年〉
飯野 雛 大屋 リュウキ
佐々木玲緒奈 鈴木 唯翔
三ツ木真那斗 渡辺 瑠莉

◎基本情報技術者科目A免除修了試験合格者

（令和5年12月10日実施）
〈会計情報科1年〉
井川 堅造 荻原 もみじ
高見澤 七菜 羽田 百花
日原 航陽 廣瀬 颯
藤田 康介 松田 廉
望月 崇宏

◎Javaプログラミング能力認定試験

（令和5年12月19日実施）
3級合格者

〈情報処理科1年〉
安部 葉 桐原 弥社
望月 崇宏 渡邊 愛華